

コザ信用金庫SDGs宣言

当金庫は昭和29年（1954年）、胡差商工信用協同組合として誕生しました。

昭和46年（1971年）コザ信用金庫に改組し、平成14年（2002年）に沖縄信用金庫と合併して新生「コザ信用金庫」となり、沖縄県唯一の信用金庫として、これまで地域の発展に取り組んでまいりました。

地域密着を標榜する信用金庫の企業理念（ビジョン）は「SDGs」への取り組みそのものです。

コザ信用金庫は、これからも「地域経済の持続的発展」に貢献するため、「しんきんビジョン」を実践し、「SDGs」に取り組んでまいります。

しんきんビジョン

1. 中小企業の健全な発展
2. 豊かな国民生活の実現
3. 地域社会繁栄への奉仕

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs（持続可能な開発目標）とは

「SDGs」とは、2015年の国連総会で加盟国すべてが採択した2030年に向けた世界共通の具体的な行動指針です。持続可能な発展を実現するための17のゴールと169項目のターゲットがあり、「誰一人として取り残されない」をスローガンに、全世界で取り組むものとされています。日本では2016年に内閣総理大臣を本部長とする「SDGs推進本部」が設立され、日本政府の取り組みがスタート。同年12月には「SDGs実施指針」が公表されました。

2021年4月15日
コザ信用金庫
理事長 金城 馨